



道徳だより

7月号

南砺市立井波中学校

令和4年7月20日発行

道徳の授業の軌跡

職員室前の掲示板の一角に、道徳の授業の取組や道徳だより等、道徳に関する掲示をするコーナーを設けています。このコーナーには、生徒が道徳での学びを確認できるよう、学習した教材名や価値項目を付箋に書いて貼ったり（下写真）、教材に登場したイラストを掲示したりしています。

学習を振り返るきっかけになればと思います。



3 学年

部の後輩が早朝にドリブル練習を



している姿を見て、主人公が自分の生活を見直す「早朝ドリブル」という教材を読み、節度ある生活について考えました。

「部を引退したら、入試に向けて学習を進めたい」、「すき間の時間を利用して学習をしたい」、「今後は今まで以上に計画的に学習に取り組みたい」という意見が出ました。部活動を引退する時期と重なり、希望する進路に向けて、節度ある生活を送ろうという意識を高めることができました。

2 学年

悲しみに両手を覆う少女を囲むようにクラスの生徒が大勢いる絵



が9枚。その1枚1枚に、「私のせいじゃない」「ぼくは知らない」「叫べばいいのに」「自分のせいだよ」等、クラスの生徒が少女いろいろなセリフを投げかけます。そのような絵から生徒たちは、一見なんともない言葉一つ一つに真剣に反応し、いじめについて自分の考えや気持ちを伝えることができました。いじめについて考えるよい時間になりました。

1 学年

登山の前日、2班の5人は



「用意でき次第寝ること」という先生の言葉に納得せず夜更かしし、その結果、何度も転びながら下山し、1班の班長に「山に来る資格がない」と言われる教材を読んで考えました。生徒たちは、節度を守ることや体調を整えること、周りの人への影響を考えること等、様々な面から安全な生活のために大切なことを考えていました。また、避難訓練での自分の行動を省みる生徒もいました。